

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	☆ C 5 - 10 - 4	事業名	(27)海産物等地域ブランドの販売促進事業
事業概要	<p>【事業目的】 東日本大震災により甚大な被害を受けた宮古市の水産業は、宮古市魚市場の水揚高で見ると、震災前の5割程度まで回復しつつあるが、震災による販路の縮小等の影響もあり、依然として厳しい状況にある。 宮古市では、年間を通じてサケやタラ等の多種多様な魚介類が水揚げされ、中でもマダラの水揚量は全国有数を誇る。 本事業では、これらマダラ等宮古市産の水産物の強みを把握し、また他の競合産地等を調査した上で、地理的表示保護制度を活用も視野に入れながら、ブランド化へ向けた戦略を策定する。 そして、策定したブランド化戦略を基に、イベントや商談会等の場でのPR活動に向けたチラシ・パンフレット等作成し、宮古市の水産物の差別化・ブランド化を図るものである。</p> <p>【事業内容】 ① 宮古市ブランド戦略検討会（仮称）の開催 ② 競合産地の調査 ③ 宮古市の水産物の強みの分析 ④ （②、③を基に）宮古市の水産物のブランド化戦略を策定 ⑤ （④を基に）PR活動のためのパンフレットの作成</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業で高台での住宅用地の整備や集落道の整備等、災害に強い漁業地域づくりに必要な施設の整備を行っているところであるが、当該事業で整備した用地を活用する漁業者を含む地域住民が今後も持続的に生活していくためには地域の経済を支えている水産業の復興が必要不可欠である。 本効果促進事業で実施する宮古市水産物の特徴調査及び情報発信は、宮古市水産物のブランド化・販売促進を図り、宮古市の水産業の復興を推進するものである。</p> <p>【事業費】 ブランド化戦略の策定・活用 （令和元年度～2年度） 10,800千円 ・令和元年度 7,550千円 既存配分（令和元年8月） ・令和2年度 3,250千円 今回申請額</p> <p>（実施内容） ・令和元年度 ①宮古市ブランド戦略検討会（仮称）の開催 ②競合産地の調査 ③宮古市の水産物の強みの分析 ④宮古市の水産物のブランド化戦略を策定 ⑤PR活動のためのパンフレットの作成(R元年分)</p> <p>・令和2年度 ⑤PR活動のためのパンフレットの作成(R2年分) （実施計画の検討・検討会の開催・報告書の作成等含む）</p>		

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。